

神経芽腫における有害事象に関わる薬理遺伝学的解析研究

1. 研究の対象

1995年から2013年までの間に全国の神経芽腫スタディーグループ JNBSG 登録施設 57 施設の医療機関にて神経芽腫と診断され治療を受けた症例のうち、晩期合併症と二次がん発症を認めた症例を対象とする。約 100 例の合併症患者と、同等の治療を受けたが合併症のなかった約 100 例を対象とする。

晩期合併症:腫瘍に対する化学療法(シスプラチン、カルボプラチン、THP アドリアマイシン、シクロフォスファミドなど)によると推測される聴力障害や循環器障害などの合併症

2. 研究目的・方法

肝芽腫から合併症との関連性をもつ候補として抽出された一塩基多型 (SNPs) が、神経芽腫においても合併症とに關与するかを検討する。また、理化学研究所にて神経芽腫の GWAS 解析 (Genome-wide association study, 網羅的遺伝子多型解析) を行い、神経芽腫治療プロトコール参加症例での合併症に關与する SNPs を検索する。

研究実施期間：平成 27 年 10 月 1 日から令和 8 (2026) 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、網羅的遺伝子多型情報等

試料：組織、血液

4. 外部への試料・情報の提供

網羅的遺伝子多型解析施設である理化学研究所統合生命医科学研究センターに DNA を匿名化して郵送する。

5. 研究組織

埼玉県立がんセンター	上條岳彦
京都大学	滝田順子
国立成育医療研究センター	瀧本哲也
大分大学	末延聡一
京都府立医科大学	田尻達郎
佐賀国際重粒子線がん治療財団	中川原章
理化学研究所統合生命医科学研究センター	桃沢 幸秀
千葉県がんセンター	永瀬浩喜

JNBSG 登録施設 (ホームページ <http://www.jnbsg.jp/jnbsg/history/>)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所長 上條岳彦(研究代表者)

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 818 臨床腫瘍研究所

TEL 048-722-1111

FAX 048-722-1739

研究責任者：

埼玉県立がんセンター 上條岳彦

(対象症例: JNBSG 登録施設のうち 57 施設) (2021 年 3 月現在)

杏林大学

横浜市大病院

岐阜市民病院

宮崎大学医学部

京都大学

京都府立医科大学

近畿大学医学部

近畿大学奈良病院

金沢医科大学

金沢大学

九州大学

熊本大学

慶應大学

広島大学

順天堂大学

新潟大学

昭和大学藤が丘病院

新潟県立がんセンター新潟病院

聖路加国際病院

静岡県立こども病院

千葉県こども病院

千葉大学 小児外科

大阪市立総合医療センター

大阪府立母子保健総合医療センター

大分県立病院

福井大学医学部

福島県立医科大学

兵庫県立こども病院

名古屋大学

弘前大学

香川大学

高知大学

国立成育医療研究センター

埼玉県立小児医療センター

札幌医科大学

札幌北楡病院

山形大学

山口大学医学部

山梨大学

四国こどもとおとなの医療センター

滋賀医科大学

鹿児島大学

秋田大学

大分大学

筑波大学

鳥取大学

帝京大学医学部

島根大学

東京慈恵会医科大学

東北大学

徳島大学

岡山医療センター

日本医科大学

富山大学

兵庫県立塚口病院

北海道大学

獨協医科大学とちぎ子ども医療センター